

あるひ

家庭教育学級だよりVol.1～11は
こちらからご覧いただけます



9/28 「スライム・かき氷づくり」綿あめ体験

● ● ● ~生涯学習課主催 家庭教育学級紹介~ ● ● ●

第3回

9/28 スライム・かき氷づくり

家庭教育学級「スライム・かき氷づくり」を開催しました。子どもたちは、カラースライムや光るスライムづくりに夢中になって取り組んでいました。



～参加者の感想～
子どもと大人が楽しめる内容で、とてもよかったです。身近な材料でスライムが作れたり、蛍光塗料の粉を混ぜたりなど、驚きがあって子どもたちも大喜びでした。

第4回

10/19 パイシートdeお菓子づくり

いばらきコープ様と連携し、「パイシートDEお菓子づくり」を開催しました。パイシートで好きな形に練り上げ、オーブンで焼きました。親子で協力して盛り付けました！



いばらきコープ様と子育てサポートさん

～参加者の感想～

今が旬の食べ物を通して「子どものやりたい」をひき出して頂きありがとうございました。また食べ物クイズも楽しかったです。スーパーなど行った時に子どもと話しながら買い物もしたいと思いました。サクサクのパイに甘いポテトおいしかったです。

各学校等の家庭教育学級

四季の杜保育園



「卒園式ロゼット作り」



「歯磨き教室」

ミーム保育園



「親子で音楽を楽しむ」

はとり保育園



「親子ダンス」

よつば幼稚園



「キラキラスポーツ教室」

小川北義務



「親子ヨガ」



「すごろくトーク」

元気っ子幼稚園



「すごろくトーク」



「小美玉版子育てすごろく」

～子育てすごろくの感想～

- ・「子育てすごろく」を通して、他の保護者の方と子育てについて話し合う機会になりました。
- ・みんなが同じような悩みを抱えていることがわかり、安心しました。子育てサポートのアドバイスもとても参考になりました。

ルンビニ学園幼稚園



「クリスマスコンサート」

小川南小



「親子給食」

羽鳥小



「親子リース作り」



「親子陶芸教室」



「すごろくトーク」



「歯磨き教室」

玉里第二保育園

堅倉小

納場小



「歯磨き教室」



「親子リース作り」



「親子スライム作り」



すくすく育ていばらきっ子 家庭教育応援ナビ



こちらから
ご覧いただけます。

おすすめ動画

「不登校への対応」



動画はこちら



スクールカウンセラー
菅宮 ちはる 氏

「親子のコミュニケーション」

親と子のコミュニケーション
について



親業訓練
インストラクター
安 のり子

動画はこちら



親業訓練インストラクター
安 のり子 氏

No.1 サポーター！永久就任！

松村 美幸

私は不妊治療を経て二人の子どもを授かりました。8歳の長男と6歳の長女。この子たちが生まれてきてくれたことは、私にとって奇跡そのものです。長い治療の日々、何度も心が折れそうになり、未来を信じられなくなることもありました。それでも「我が子をこの手で抱きしめたい」という一心で、夫と支え合いながら治療に臨んできました。そして、やっと出会えた我が子を胸に抱いた瞬間、涙があふれ、「これからこの子たちと過ごす日々を全力で楽しもう。」と強く心に誓いました。

その誓いを胸に、私は子育てを「楽しませてもらっている」と心から思っています。長男はサッカーに夢中で、練習試合や大会の度に、家族全員で応援に駆けつけます。サッカーの試合は我が家にとって大切なイベントの一つになりました。ゴールを決めた瞬間の長男の誇らしげな笑顔、悔しさに涙する姿を見ると、「この経験がきっと彼を大きく成長させるのだろうな」と思います。親として出来ることはそんな彼の挑戦を精一杯応援し、寄り添うことです。

一方、長女はピアノを習っています。音楽に触れることが大好きで、最近では私と一緒に発表会での連弾に向けて練習中です。曲は「夢をかなえてドラえもん」。明るく希望にあふれた曲を弾いていると、自然と笑顔になれます。親子で息を合わせて弾くことは簡単ではなく、音を間違えて悔しくて不貞腐れることも多々ありますが、一緒に音を重ねる時間はとても幸せで、上手く弾けたときの満足気でちょっと照れくさいような笑顔が愛おしくてたまりません。海外旅行などの決して大きなイベントではありませんが、ありふれた日常のやり取りが、私の心を潤し、人生を豊かにしてくれています。

そして、私の子育てには、保育園や学校の先生方の存在が欠かせません。保育園時代、トイレトレーニングになかなか本腰を入れていなかった私に、「パンツ持ってきてください。もうパンツで大丈夫ですよ。」ときっかけを与えてくれたのは保育園の先生でした。また、家では全く取り組んでいなかった文字の練習も保育園でしてくださり、ひらがなが書けると知った時には驚きと感激でいっぱいでした。「こんなことまでしてくれていたんだ」と胸が熱くなり、改めて保育園という場のありがたさを実感したのと同時に、保育園に任せっきりにしてしまったことを反省しました。今、こうして子どもたちが日々学び、成長できているのは、間違いなく先生方や保育園・学校の支えがあったからです。

私は長男の小学校入学を期に、正社員からパートタイムに働き方を変えました。そして授業参観や運動会はもちろん、奉仕作業や学習補助のボランティア、校外学習時の引率など声が掛かれば出来る限り活動に参加しています。役員や係を引き受けることも、私にとっては当たり前のことです。子どもたちが学び、成長する場を与えてくださる先生方への感謝の気持ちと、「授かった命の成長にとことん付き合いたい」という思いがあるからです。不妊治療を乗り越えて授かった命だからこそ、子育てを通じて広がったご縁に、私は心から感謝しています。もし子どもがいなければ、こんな出会いや経験は決してなかったでしょう。保育園や学校での活動は、私にとっても学びと喜びの時間になっています。

そんな我が家の子育てのモットーは、“挑戦を見守り応援すること”です。子どもたちの「やってみたい！」という気持ちを大切にし、危ないからと止めるのではなく、危険を伴うことも、環境を整えて挑戦させています。なぜなら、挑戦の先には必ず学びがあるからです。成功すれば自信になり、失敗しても打開策を考えたり「まだ難しいんだな」と自分を知るきっかけになったりします。そして、その全ての経験や感情が子どもの成長に大きく影響すると信じているからです。

子育ては毎日が発見と感動の連続です。笑顔も涙も、上手くいった喜びも、悔しさもそのひとつひとつがかけがえのない経験です。不妊治療をしていたころ、こんな未来が自分に訪れるなんて想像することは容易なことではありませんでした。だからこそ、今の毎日がどれほど尊いものか、心の底から感じています。そして子どもたちには「私をあなたたちのママにしてくれてありがとう！」という感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも、子どもたちが自分の足で歩み始めるその日まで、夢に向かって進む姿を全力で応援し続けたいと思っています。そして共に喜び、共に悩み、共に成長し続ける家族でありたいと思います。私たち家族は、生涯子どもたちの一番のファンであり、一番のサポーターであり続けることを誓います。

※原文をそのまま掲載しています。